

前線から みなさんへ②

～日本エコツーリズムセンター代表理事・広瀬敏通氏による
「RQ市民災害救援センター活動レポート」より抜粋～



3月29日

宮城県登米の小さな体育館に設置した現地本部では、物資が全面積の6〜7割を占領しているのに、ボランティアはおおよそ3割エリアのテント村で、タベは60人。ギューギュー詰めに寝ています。わたくし広瀬も、エコセン顧問のメさんと、むさくるしい小テント生活です。

モノからヒトへ

連日20数台の車両が、被災地に物資をピストンで運んでいます。物資というのは基

話を聞く

被災地を見下ろす高台にいたおばあちゃんに今日も話を聞きました。命からがら生き残った90才のおばあちゃんに、

本的には「緊急支援」の段階で必要なもので、半月以上もたった今、現場では緊急支援物資はほぼ行き渡り、現在は毛布、寝具、服などの耐久物資よりも、例えば調味料や薬品、下着、燃料などの消費材、本、おもちゃ、手鏡といった情緒的な品物にニーズが移行しつつあります。しかし、これらをとめどなくボランティアが供給し続けると、せっかく復興しようとする地元商店などの経済活動を壊してしまうことになり、地域再生に逆行してしまいかねません。現に過去の被災地ではこうしたケースが発生しています。

問わず語りに一生懸命に状況を話してくれました。人生で希有な体験は誰にも話せないでいると、放射能のようにじわじわと心に傷を生み出していきます。『話を聞く』だけでも大事なボランティア活動なのです。さまざまな組織団体が、創意と工夫を凝らした多様な支援のかたちをとって活動することで、地域にとって有益で、将来の地域計画にもプラスに作用するような支援が展開できると思っています。

ニュース5910

東北と西表

募金活動にご協力いただいている santa nu neene の純子&良子姉妹のご兄弟が、友人たちとボランティアチームを組んで気仙沼まで赴き、小さな避難所に物資を配る活動をしてきたそうです。

また、エコツアー会員の真知子さんのご友人で、実家が登米だというモックさん(在石垣)からも、「何の縁か、みなさんの黒糖が、近くのボランティアセンターに届くようです。ありがとうございます。これから登米で復興のために動きます。」というメッセージが寄せられました。

東北と西表が、いろいろな形でつながり始めましたね！

毎日更新！日本エコツーリズムセンターホームページで広瀬理事の活動レポートがまるごと読めます。
(<http://www.ecotourism-center.jp>)

今週の三拝云
*ダイビング組合さま(黒糖2箱寄贈)
*「力になれたら『プロジェクト』の皆さま
*純子&良子姉妹のご兄弟さま
(私たちの黒糖のみせんでしたか?)
*真知子さんのご友人モックさま
*モックさまのメッセージを届けてくれた石垣在住サオリさま
*東部にしんぶんを運んでくれたUさま
*東部でしんぶん貼りをしてくれたTさま
その他多くのみなさま
ありがとうございました！
そして引き続きよろしく！

4月4日(月)
12箱の黒糖を
発送いたしました。

ご報告

収入……36,050円
前回送付からの繰り越し
募金箱への寄付
募金箱以外の寄付
*ダイビング組合さまより黒糖2箱寄贈！ 合計12箱を送りました

支出……31,750円
黒糖70箱購入
送料(ゆうパック120サイズ×2)

2号

週刊 東北に黒糖を送ろう！大作戦 しんぶん

毎週火曜日発行予定

募金箱設置場所(4月4日17時現在・順不同)…[東部地区]ラ・ティエダ西表 字南風見 大原港ターミナル(竹富町観光協会、八重山観光フェリー) [西部地区] スーパー川満 西部歯科診療所 santa nu neene カフェなかゆくい ダイビングチームうなりざき 民宿パイン館 民宿あけぼの館 民宿母家 マリンロッヂアトク キッチン inaba 西表島エコツーリズム協会 紅露工房 浦内川観光 イルティフタデムラ 星砂スーパー 金城旅館 [波照間]